

報告事項ケ

平成26年度文部科学大臣表彰について

平成26年度文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成26年10月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成26年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について

教育総務課

1 表彰趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員に対して、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資するため、文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者

氏名	年齢	主要経歴
いしこ かずこ 石河 和子	65歳	前岩美町教育委員会委員
にしやま あつお 西山 淳夫	62歳	前八頭町教育委員会教育長

※年齢は平成26年8月1日時点

3 表彰式

- ・日時 平成26年10月21日(火) 午後12時20分から
- ・場所 東京都千代田区 文部科学省 講堂

4 被表彰者の主な功績

別添のとおり

被表彰者の略歴及び主な功績

石河 和子 (いしこ かずこ)

略歴	岩美町教育委員会委員 (平成13年12月から平成25年12月)
主な功績	<p>○学校教育 岩美中学校の改築や岩美北小学校の大規模改修など、児童・生徒・教職員ともに安心して学べる環境づくりに貢献した。平成19年6月に焼失した学校給食共同調理場の再建に向け、町内小中学校の保護者会等で女性の立場、母の立場から懇切丁寧な説明を重ね、再建に尽力した。 また、100万円を校長裁量で執行できる特色ある学校づくり事業、全県に先駆けて実施された30人学級、保育所から中学校まで一貫した教育活動をめざしたスクラム教育の推進など時代を先取りした教育活動に多くの進言をした。</p> <p>○社会教育 教育の原点は家庭教育にあることを常に提唱し、子どもを地域と家庭と学校で育てるため、地域での諸行事への参加や、学校評議員制度への保護者参加を提言した。 平成14年及び25年沖縄県国頭村児童交流会には団長として児童を引率し、また、国頭村児童が来町した際には、ホームステイの実施内容に細やかな指導内容を提言したり、自らスキー交流体験教室の指導者として率先垂範し、交流事業の成功に大きな役割を果たした。</p> <p>○文化事業の振興 文化財を次世代に伝えていくため、岩美南小学校建設時に発見された弥生時代後期の新井三嶋谷墳丘墓を町指定から県指定に昇格するために尽力した。 また、山陰海岸が世界ジオパークに認定されたことを契機に、ジオパーク学習を進言し、その学習活動の推進に寄与し、ユネスコスクールに本県で初めて町内すべての小学校が認定される契機を作った。 さらに、統廃合となった旧蒲生小学校、中学校跡地に童謡唱歌の父田村虎蔵生誕百四十周年を記念して計画した野外音楽施設である「いわみふるさと音楽堂」の設置に尽力した。</p>
<p>西山 淳夫 (にしやま あつお)</p>	
略歴	八頭町教育委員会教育長 (平成17年5月から平成25年5月)
主な功績	<p>○学校教育 船岡小学校、中央中学校の改築及び町内に3箇所あった給食調理場を一箇所に統合するなど、老朽化した教育施設の改築に精力的に取り組んだ。その後、小中学校の耐震化に取り組むと同時に各学校にJ-アラート(全国瞬時警報システム)を導入するなど児童・生徒の安心安全を確保するために尽力した。 また、情報教育を推進し、教職員、児童・生徒が使用できるインターネット環境の整備、電子黒板の導入など情報化のニーズを取り入れた教育に尽力した。 さらに、30人学級の編成、複式学級の解消にも精力的に取り組む、小中学校のクラス編成に影響を与え、退任後も継続して実施中である。 なお、学校のあり方にも目を向け、学校適正配置審議会を立ち上げた。町内の8小学校、3中学校を4小学校、1中学校にするという審議会の答申のもと、地元積極的に出向き、地元住民と対話をしながら学校の適正配置の合意を得た。</p> <p>○社会教育 生涯学習の重要性を認識し、特に図書館の充実には力を入れた。小中学校に図書館司書を配置し、読書の大切さを児童・生徒に学習させると同時に、知識の拡大に積極的に取り組んだ。また、公共図書館のなかった地域に既存施設を利用することにより図書館を開館させると同時に、町内の図書館の連携を図り、地域の方々に読書の機会を提供した。 また、全国スポーツレクリエーション祭が県内各地で開催された際には、八頭町で開催されたペタンク会場の陣頭指揮を取り、大会の成功に寄与するとともに、軽スポーツの普及に努めた。</p> <p>○文化事業の振興 公民館グループなど文化活動団体の活動を支援するとともに、それらの活動を有機的に結びつける組織として八頭町文化協会の設立に寄与し、文化振興の核としての役割を果たすべく、その活動を充実した。 また、文化財展示室を整備し、町内から出土した遺物の展示施設として広く住民に学習の場を提供するとともに、地域で受け継がれてきた伝統芸能においては、用具の整備や映像記録の保存を積極的に推奨するなどその継承にも尽力した。</p>

平成26年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について

体育保健課

1 表彰の趣旨

学校保健及び学校安全の普及と向上を図るため、これらに関し優秀な成果をあげた学校保健及び学校安全関係者を文部科学大臣が表彰する。

2 被表彰者

<学校保健関係>

- ・ 谷口 晶英 (学校歯科医) 鳥取県立倉吉養護学校学校歯科医

<学校安全ボランティア活動奨励賞関係>

- ・ 醇風地区防犯パトロール隊 鳥取市

3 功績概要

<p>たにぐち あきひで 谷口 晶英 (学校歯科医) 64歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 倉吉養護学校歯科医として学校保健委員会をリードし、時代にあった話題提供やニーズに即した歯科治療の実施や歯科医療面での体制作りに多大なる貢献をした。 ・ 障がいのある児童生徒の歯科医療に尽力し、視覚的構造化などの障がい特性に応じた合理的配慮を取り入れ、治療や予防に成果を上げている。 ・ 日本障がい者歯科医師学会認定医として、障がいのある児童・生徒の歯科治療時に障がい特性に対応した手立てを取り入れながら必要な歯科治療を安全に進めている。 ・ 従前、治療困難とされてきた多くの幼児・児童・生徒の歯科医療の可能性を拡大し、取組の成果は広く県内の小学校等にも紹介され、活用されている。 ・ 自らの医院の診察に障がい者診察枠を設定し、倉吉養護学校の児童生徒のみならず、各圏域に在住の診療行為の困難な幼児・児童・生徒の診療を受け入れている。
<p>じゅんぶうち くぼうはん 醇風地区防犯 パトロール隊 (鳥取市新品治町) 代表 細田 利行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成18年4月設立。「未来を担う子どもたちを地域で守り、健全育成に努める」ことを目的に、黄色のジャケットを着用し、年間を通して児童の登下校を見守る。 ・ 集団下校の時、パトロール隊は学校に集合して、児童と一緒に下校しながら危険箇所の点検確認等を行い、春の交通安全教室、自転車教室、声かけや見守り活動等においては、現地指導で協力する。 ・ 夏季休業、冬季休業等にはPTAや青少年育成地区協議会のメンバーとともに夜間パトロール等の防犯活動を続ける。 ・ 校区35カ所に「通学路表示板」を設置したり、PTAと協力して「こまったらうちにおいでよ」のポスターを作成し、「こども110番の家」を明記した通学路安全マップを作成したりするなど「安全」についての見える化を図った。

4 表彰式

- ・ 日 時 平成26年11月6日(木) 午後1時から
- ・ 会 場 石川県立音楽堂(金沢市昭和町20-1)
- ・ 第64回全国学校保健研究大会において表彰